

内の好物を作って持って行きます。家内の闘病は六年間、何度死を考えたか知れません。家内もたびたび「死んだらましや」と言います。

私は強くなければならない。人生に負けてはならない。多くの人がちが森本さんのような心になってくれたらこの世の中は何とすばらしいことだろうと思います。

そのたびに私は近所のおばあさんの話をします。そのおばあさんは重度の中風で、しゃべることも食べることもできません。鼻から管を通して流動食を送り、尿は管で尿器へ取ります。家内に「お前はまあおいしいと物を食べるが、あのおばあさんはおいしいという楽しみもない。おばあさんに比べればお前はまだよい方だ」と聞かせて力づけますが、陰では私自身も「死んだら楽ちや」とどれくらい考えたか知れません。しかし、死が私をあの世へ送るまで、私は生きねばなりません。

こんな不幸な私にも、少数の心ない人たちの理不尽は続きます。

この文を市の広報へ投稿してみようと思います。親切な市の職員の方々、市役所を訪れる人たちの半数以上は不幸にあえぐ人たちであらうと思います。「誰かが私を待っている、誰かが私を待っている」この気持ちを保持して各人それぞれの職場に立てば、南国市はすばらしい郷土になると思います。高校生である森本倫世さんに教えられ、心の眼を開かれた思いを感謝の言葉といたします。



保健婦の駐在所が 移転します

四月から市役所の機構改革に伴い、各地区に駐在していた保健婦が、市役所に集まることになりました。

なお、長岡地区については、今まで通り中央福祉館に駐在します。各地区で実施していた育児相談や健康相談をはじめとする事業は、これまでと同様各地区で行います。

なお、詳しいことは次回の広報でお知らせします。

移転後の相談や連絡等は、市役所保健婦室（☎32111 内線325、326）、中央福祉館内長岡地区保健婦室（☎4414）までどうぞ。



南国歌壇

南国柳壇

南国俳壇

寿きてカメラに向かう初春の庭
写さるるなき我が思いあり

岡豊町常通寺島 武樋信子
七ツ淵畔の茶屋でみる巷
彩霞の下に緑いて見ゆ

三品 小笠原綾子
彼岸きて生前妻の好みたる
おはぎ焼張り雲を祭りぬ

篠原 山本茂

入野橋に祇なす夫映りいて

四国横断道開合の式（大豊）南国
間） 亀岩 島本栄

旅の窓続く枯野に一塚の
歴史を刻む樺の古木

後免町二丁目 徳久まきみ
胸をつく雪林道ふかくたわむれぬ
夕日つめたく燃えつきるまで

領石 唐岩勇

危ないと孫に手引かれ指導員

十市 武市日出志
悪政か物価をあげる売上税

前浜 大原正明
空しゅうに去る孤児多し戻り寒

節句酒下ジョウ涙で笑を呼ぶ
立田 清岡照子

風花や七十七の誕生日

門をこんと夜の沈丁花
埒もなき饒舌太き牡丹の芽

早天の聖書朗読こゝろゆる
沈丁の咲そめたるを夫に告ぐ

シクラメンひかり集めて窓余房
初日の出金波銀波に舟の行く
早春や絵馬鈴なりの泰山廟
七草粥土鍋にみどり吹こはれ

島崎流一（岩村句会）
瀧淵由紀男（〃）
池 さち（〃）
浜田美知（福生葉月会）
沢本吉子（〃）
岩崎佳江（〃）
川添晃子（おがたま会）
青木文子（〃）
小笠原芳美（〃）